

広渡ダム地点水力発電事業性評価調査

1. 調査の目的

広渡ダム地点水力発電事業性評価に必要な取水方式及び資材運搬路・点検路の検討を実施する。

2. 調査の内容

- (1) 事業者名
宮崎県(宮崎県企業局)
- (2) 事業名
広渡ダム地点水力発電性評価調査
- (3) 事業期間
平成 28 年 8 月 2 日 ~ 平成 29 年 2 月 17 日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a.型式 : ダム式
 - b.使用水量 : 3.0m³/s
 - c.有効落差 : 30.2m(低水放流管接続式)、32.9m(サイフォン式)
 - d.出力 : 721kW(低水放流管接続式)、785kW(サイフォン式)

3. 平成 28 年度の事業実施概要

① 取水方式検討業務

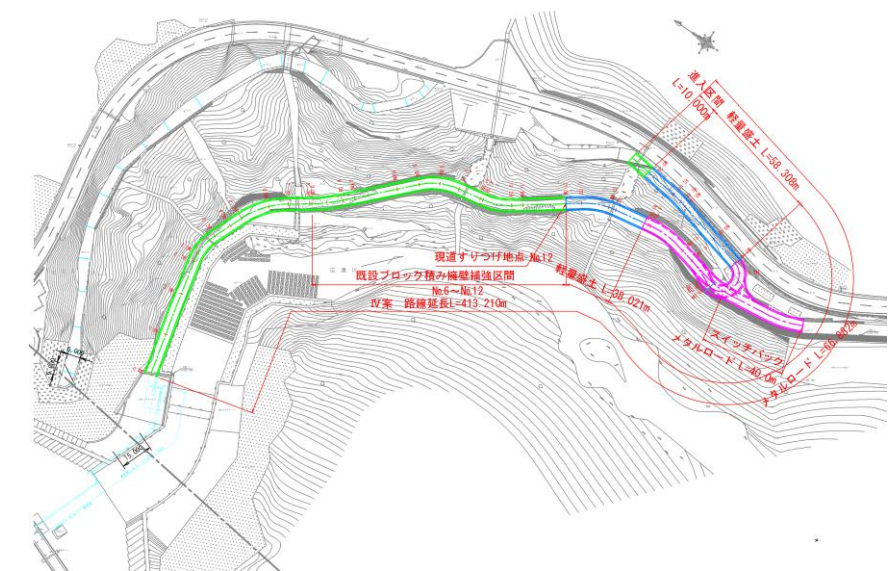
現地調査及び関連する施設(広渡ダム)等の資料収集整理を実施し、施工数量、施工制約条件、資材運搬路・点検路等の基本事項を検討するとともに、低水放流管との接続案、サイフォン式案の2案について施工計画書を作成し、現在の計画での施工可能性について詳細な検討を行った。

4. 調査の成果等

【取水方式検討成果図】



【資材運搬路・点検路検討成果図】



【総合検討】

- 取水方式 :
サイフォン式においては、他県の実績としてゴミ詰まりによる発電停止が多く発生しており、ゴミ除去方法の検討や発電停止によるリスクが懸念されることから、低水放流管接続方式を最適案とした。
- 資材運搬路・点検路 :
「スイッチバック+メタルロード案」、「ケーブルクレーン案」、「タワークレーン案」について比較検討等を行った結果、施工性や経済性等により「スイッチバック+メタルロード案」を最適案とした。

5. 事業スケジュール

調査内容	平成 28 年度				
	4/1	7/1	10/1	1/1	3/1
取水方式検討業務					

